



ひかりのこ

2023年度 冬号(12・1月)

日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 Tel.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#) 検索

教会にとって、イエスさまの誕生をお祝いするクリスマスはとても大切な行事の一つです。多くの方と共に集うことができる行事ですが、ここ数年はコロナの影響により、いつもは教会に来ていない方を招くことができず、もの寂しいクリスマスが続いていました。今年は数年ぶりに多くの方々と共にクリスマスの喜びを分かち合いましょう！



12・1月の礼拝

単元6: 喜びの知らせ

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4～中学生) 9:00～9:30	プレイ・タイム (小学生／中学生) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20
12月3日 アドベント	ザカリアへのお告げ	ルカ福音書 1:5-23、57-66	📖 武岡 基 🏠 堤 砂里奈	クリスマスに向けて (オーナメント作り)	📖 武岡路実 🏠 堤 砂里奈
12月10日	マリアへのお告げ	ルカ福音書 1:26-38	📖 堤 砂里奈 🏠 安達いづみ	クリスマスに向けて (オーナメント作り)	📖 安達正樹牧師 🏠 安達いづみ
12月17日 CS クリスマス礼拝	(ヨセフへのお告げ)	マタイ 1:18-25 ルカ 2:1-5	13:30～CS クリスマス礼拝・祝会 礼拝: 📖 安達正樹牧師 🏠 安達いづみ 🏠 武岡 基 祝会: 金城学院高等学校キャラバン隊、ビンゴ		
12月23日 キャンドルサービス	キャンドルサービス 17:00～お家の方もぜひ一緒にいらしてください ローソクの明かりのもと、クリスマスを迎える礼拝を守ります。(例年は12月24日ですが今年は23日に行います)				
12月24日 教会クリスマス礼拝	羊飼いへのお告げ	ルカ福音書 2:6-20	📖 武岡路実 🏠 安達いづみ	クリスマスに向けて (オーナメント作り)	📖 安達いづみ 🏠 武岡路実
12月31日	星に導かれた博士たち	マタイ福音書 2 章	📖 安達正樹牧師 🏠 武岡路実		📖 武岡 基 🏠 武岡路実

単元7: イエスの教え①

1月7日	本当の幸せ	マタイ福音書 5:1-12	📖 武岡 基 📖 安達いづみ		📖 武岡路実 📖 安達いづみ
1月14日	地の塩、世の光	マタイ福音書 5:13-16	📖 安達正樹牧師 📖 堤 砂里奈		📖 安達正樹牧師 📖 堤 砂里奈
1月21日	敵を愛する	マタイ福音書 5:43-48	📖 堤 砂里奈 📖 武岡路実		📖 武岡 基 📖 武岡路実
1月28日	心配しない	マタイ福音書 6:25-34	📖 武岡路実 📖 安達いづみ		📖 安達いづみ 📖 武岡路実

CSクリスマス礼拝・祝会



12月17日(日) 13:30～(15:00終了予定)

イエスさまの誕生をお祝いしてクリスマス礼拝を守ります。(朝の礼拝はありません)

祝会では金城学院高校キャラバン隊のみなさんによる人形劇や手遊びなどで楽しい時間を持ちます。今年は、いつも教会に通っていないお友だちも誘って、みんなでお祝いしましょう！

12・1月の聖句



「神にできないことは何一つない。」

マリアは言った。「お言葉どおり、この身に成りますように。」(ルカ 1:37-38 より)

12月のさんびか

こどもさんびか 50 (ヨセフのいいなづけ)

最初のさんびかとして1～3節、「今月のさんびか」で4～6節 / または「今月のさんびか」で1・3・6節

この賛美歌は、『こどもさんびか』での分類上「クリスマス」ではなく「聖書の歌」分けられています。天使ガブリエルがマリアに現れて、イエスさまが誕生されることが告げられた場面です。マリアは戸惑いますが「お言葉どおりになりますように」と神さまへの信仰が表されています。

アメリカで生まれた賛美歌です。詞はノースウエスタン神学校で牧会学を教えられているグレイシア・グリンダルさん(1943-)、曲はルーテル派教会で牧師をされているラスティ・エドワーズさん(1955-)によるものです。この二人によって共同で20もの賛美歌が作られています。

ソロや聖歌隊で、天使・マリア・語り手など、役割を分けて歌ってもいいですし、マリアへのお告げを主題とする礼拝やページェントでも歌うことができます。

5節と6節の歌詞は「今月の聖句」でもあります。マリアの信仰を学ぶと共に、「マリア」のところに自分自身を当てはめてみましょう。

1月のさんびか

こどもさんびか 22 (キリストがわけられた)

この賛美歌の作曲者・年代については不詳ですが、1832年に出版された歌集に収録されています。その後、1938年に出版された『Folk Hymns of America (アメリカの民謡賛歌)』で、「祖母から聞いたメロディー」として収められ、広く知れ渡ることになりました。19世紀アメリカ南部でいたわれていた賛美歌(白人霊歌)に共通する、6/8拍子、ペントニック(五音音階)に近い音階などの特徴を持っています。

詞は『讃美歌21』のために書かれたもので、当初は、聖餐について歌うものになる予定でしたが、学校や教会学校で歌うことを考え、食事を共にすることの意義を歌う現在のものになりました。キリストの愛によってテーブルに招かれた者たちが「ともだち」になるとの詞は、「五千人の給食」や「命のパン」、また初代教会の姿を記した使徒言行録の言葉を思い起こさせます。食前の賛美歌として歌えますが、食事を共にする場面でなくとも「主の愛がみんなをともだちにする」ことの意義を歌うことで、神さまの愛を大切に感じることができます。

がたんじょうびおめでとう🍰

12・1月生まれのお友だち